



世界に希望を生み出そう

Vol. **62**

No. **29**

第2900例会
2024年4月23日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

東京江東ロータリークラブ

2023~2024年度 テーマ

世界に希望を生み出そう

ロータリアンの心に火をつけよう Get the Joy of Rotary
RI会長 ゴードン R. マッキナリー 地区ガバナー 栃木 一夫

伝統と革新

~革新しながら伝統を守ろう~
クラブ会長 河西 史郎

今日の卓話

イニシエーションスピーチ
野村 優喜君

次回例会案内

第6回
クラブフォーラム

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp <http://www.koto-rotary.jp>

例会報告

4/9 会員数 22名中 15名
出席率 66.66%
【訂正出席率】
3/26 出席率 66.66%



会長・幹事報告

- 9日(火) 理事会・被選理理事会・例会(プログラム委員会)【卓話】たんぽぽクラブ 理事長 嶋田知詠子 氏
- 12日(金) 在京青少年奉仕委員会(国際オリンピック記念青少年センター) 大澤会員が参加いたします。
- 16日(火) 特別休会 地区研修協議会 ホストクラブ: 東京葛飾中央RC (東京国際フォーラムC・B7)
- 21日(日) 地区青少年奉仕委員会 学友会 (国際オリンピック記念青少年センター) 小野会員が参加いたします。
- 21日(日) 22日(月) 江東RC 親睦旅行 鴨川グランドホテル
- 23日(火) 例会【卓話】野村優喜君 イニシエーションスピーチ



<委員会報告・その他>

【回覧】なし

【配布物】週報 NO.28、29

【委員会報告その他】なし

次の例会は、5月7日(木)となっております。欠席される方は、事務局までお知らせください。

2024年4月のロータリーレポート【1ドル151円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737

ニコニコボックス



東京北 RC・大森順方君(地区青少年奉仕委員長): RYLA の際は、全員登録をしていただき誠にありがとうございました。4月21日の学友会では、チャントイフォンさんが発表いたしますので、是非ご参加下さい。

東京向島 RC・和泉裕通君: 本日宜しくお願い致します。

河西会長: 嶋田さん、卓話楽しみにしております。

伊藤(海) 幹事: 嶋田さん、本日は楽しみにしております。

伊藤(三) 君: 今日、嶋田理事長の卓話を楽しみにしております。宜しくお願い致します。

鈴木君: 嶋田様、卓話を楽しみにしています。

小嶋君: 本日も宜しくお願い致します。

鯉淵君: 本日も宜しく申し上げます。

小野君: 大森委員長ようこそ。嶋田さん本日の卓話楽しみにしております。

大澤君: 嶋田さん、卓話楽しみです。大森委員長、和泉様ようこそ!

堀君: 嶋田さん卓話たのしみにしています。

熊川君: 本日もよろしく申し上げます。

野村君: 本日もよろしく申し上げます。

合計 41,000 円

累計 1,513,000 円





世界に希望を生み出そう



特定非営利活動法人 障がい児者ライフサポートたんぼぼの会 嶋田 知詠子氏



本日は卓話のお席にお招きいただきまして誠に有難うございます。江東区石島で障害のある子どもたちの放課後施設「たんぼぼクラブ」を運営しております本日は私の障害福祉の原点、原動力になっている娘について、イースト 21 社会福祉フェスティバルが契機となり広がってきている地域活動についてお話をさせていただきます。

【知的障害の重い娘が導いてくれたこと】

私の娘は2歳の時に重度知的障害のある自閉症と診断されました。当時は寝顔を見てはポポ涙をこぼしていた母親でした。障害が重いと地域の幼稚園や小学校に通うことが出来なかったため、娘のことや自閉症をわかりやすく描いた絵本を2冊作り配ってありました。この絵本が朝日新聞に掲載されたことがきっかけとなり、数矢小学校の図書館や女性センターの図書室に置いていただけただけの事が活動の始まりとなっていきました。娘が小学校の1年生の時に6人のお母さん達と「どんなに障害が重くても豊かな放課後の時間を過ごさせたい」という願いをひとつにして「たんぼぼクラブ」立ち上げました。以来たんぼぼクラブは今年で22年目を迎え、障害児のための大切な居場所となっております。

娘が二十歳を迎えた時に、3人のお母さんと成人式の着物着付け&撮影のチームを立ち上げ今年で10年を迎えますが、写真館では撮影が難しい重度障害の方々の「晴れの日」を撮り続けております。

二十二歳になる少し前に、親なきあとのことも考え身も心も裂ける思いでしたが、青森県にあります障害者施設に娘を託しました。新青森駅前にある「社会福祉法人ゆきわり会」に娘がお世話になり今年で9年目となります。この施設には東京都近郊の重度障害のある人たちが220名ほど入所しており、その中でも一番多いのが江東区民です。なぜ多いのかというと、江東区には重度障害者の終の棲家がほとんど無いという現状があります。

娘は今自然豊かな施設の中で、畑仕事や広い施設にある体育館等で活動し、温泉に入り穏やかに暮らしております。娘に会いにいくため、私は青森県を頻りに訪れるようになりました。2018年の事なのですが、前々から成人期の余暇活動をなんとか立ち上げようと考えていたところ、ゴスペルディレクター

の金指さんがたんぼぼクラブに入職されて、卒業生たちを対象とした「ダンデライオンゴスペルクワイア」を結成しました。2020年新型コロナウイルスが猛威をふるい青森へ行くことも出来ず、余暇活動はすべて中止となりました。その頃老朽化のため自宅を更地にしてマンションを建設する事になりました。建設中の2年間はスティホームだったこともあり資格取得の勉強をして社会福祉士の国家資格をその時に取得しました。

2022年にマンション竣工、マンション名は娘を思い「Blue Forest」(青森)としました。

竣工の記念品に、青森県産のさくらんぼを探していた所、高野フルーツパラードさんが、当時の青森県知事三村申吾氏とお引き合わせ下さいました。三村知事に江東区の重度障害のある人たちを青森で受け入れて下さっていることに対してお礼を申し上げると、「青森と深川を繋げるイベント」として物産展をご提案頂き、自宅マンション1階にオープンしたスタジオにて第1回目の青森物産展を開催しました、これからも青森県と深川を繋げる活動をして参りたいと存じます。

【イースト21社会福祉フェスティバル 障害のある人たちに照らす光】

2018年のある日たんぼぼクラブに江東ロータリークラブの犬塚様が訪ねてきて下さり、楽しくゴスペルを歌っているので、いつかはステージに立って発表したいとお伝えしました。

その4か月後に第1回イースト21社会福祉フェスティバルが開催される運びとなったのです。障害のある人たちが地域へ出ていくのは容易なことではありません。江東ロータリークラブの皆様のご決断や、きめ細かな準備、ご配慮のお陰様で私達は夢のようなステージに立つことが出来ました。一人ひとりが喜びにあふれ、その子らしく輝いていました。その光景は見ている方々もそして親たちも驚きと感動に包まれました。

このステージを見ていた人たちからお声をかけて頂き、私達は自閉症啓発イベントの一環で東京タワー、お台場、お江戸深川さくらまつりなどさまざまなステージに立つ機会を頂きました。アートパラ深川おしゃべりな芸術祭では高橋のらくろード商店街にて地域の皆様と一緒に歌い、まさに次なる共生社会への扉を開けてくれるような思いがしました。

コロナ禍では江東ロータリークラブ様がいち早くマスクを届けて下さり、ピアノや車両を贈呈いただきましたこと、改めて深く御礼申し上げます。

私は娘の子育ての中で、障害者を差別したり弱者を排除したりする社会そのものが悲しいと思ってきました。障害のある人と知り合いになったり触れ合ったりする機会がお互いを知り、不安を消していくものだと思っています。第4回目のイースト21社会福祉フェスティバルでも、沢山の人たちとステージに立てる喜びと共に更なる理解の輪が広まりますよう祈念しております。江東ロータリークラブの皆様のご厚情に深く感謝しております。

嶋田知詠子プロフィール
NPO 法人障がい児者ライフサポートたんぼぼの会理事長
江東区社会福祉協議会副会長 江東区知的障害者相談員
嶋田木材(有)専務取締役 父方異服商 母方(株)永谷園
台東区出身 共立女子短大卒